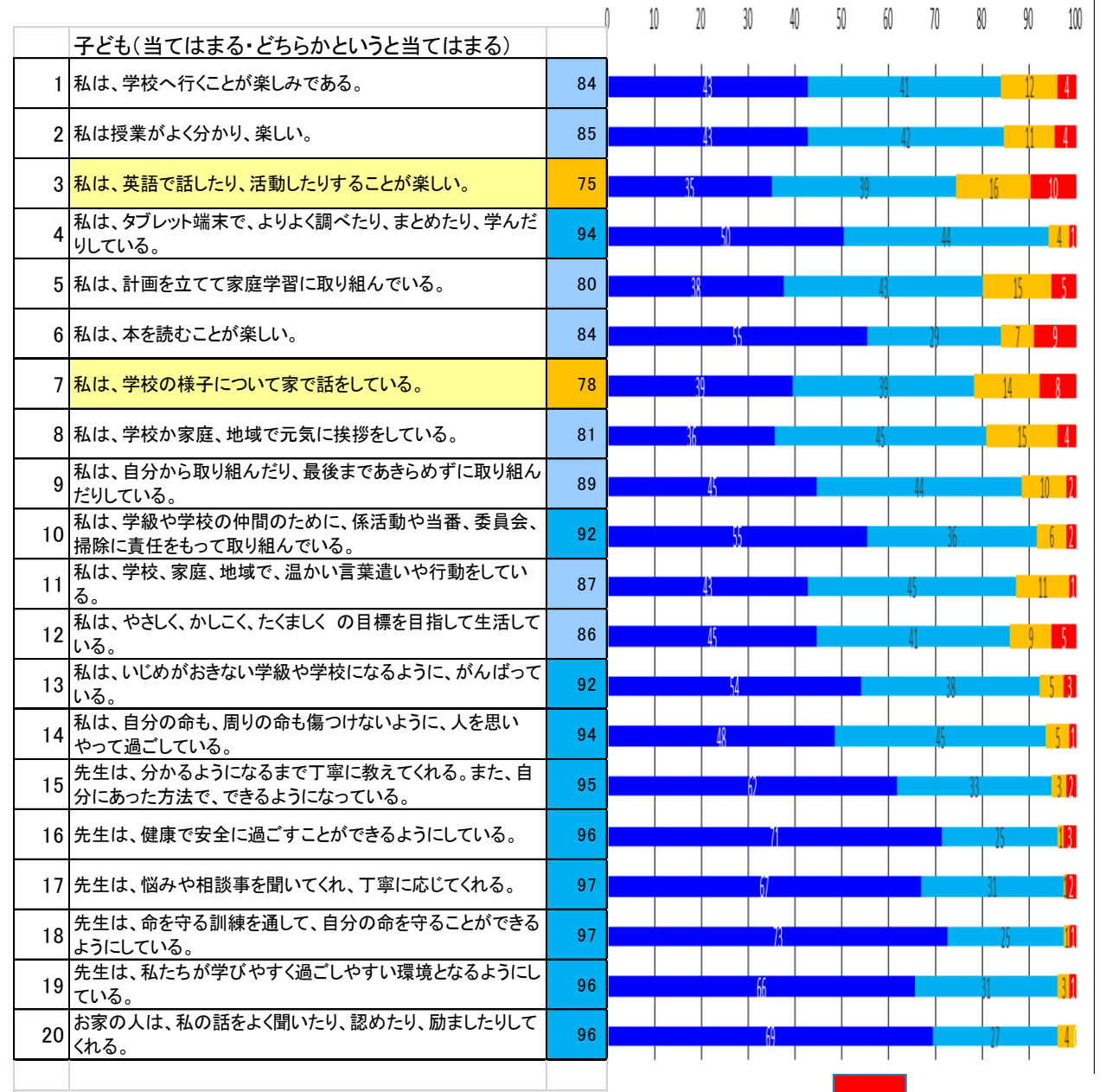


# 令和6年度 且格小学校評価アンケート（結果）



<保護者評価>  
 ・命の尊厳の理解をはじめ、学校の経営方針をご理解いただきながら、家庭と連携して子どもの育成をすることができました。特に、挨拶が昨年度より10%伸ばすことができました。また、学業指導やICTを活用した学びについても高く評価していただきました。  
 ・学校が楽しみであるという回答がもっと増えるよう、外国語学習も含め楽しい授業を行うこと、互いのよさを認め励ます教育の必要性も分かりました。また、もっとやりたいと思って家庭学習や読書、手伝いができる子どもにしたいと考えました。

<今年度を踏まえた次年度の方向>  
 ★今年度は、「やってみよう」を合言葉に、“毎日が新しい！今日はどんな自分になろうかな”と子どもがわくわくした気持ちで新たな自分づくりに取り組む教育に努めて参りました。人が人の世を創ることを踏まえ、生命の尊厳を大切にした教育の醸成はもちろんのこと、子どもたちが、学んでよかったと実感できる将来に役立つ授業の充実を図って参ります。特に、いじめ問題は人として生きていく上で重要な課題と考えます。いじめ対策監を中心に年間を通じて取組みを行うとともに、人権啓発活動や、考え議論する道徳の授業等、全教育活動を通じて温かい心を育み、よりよい生き方の選択や望ましい人間関係を築くことができるように努めて参ります。  
 ★岐阜市全体で取り組んでいる「Gifu MIRAI's」など生活科や総合的な活動の時間を通じて、岐阜市や地域の人・もの・ことに触れ、豊かな生き方を見いだすことのできる教育活動に取り組んで参ります。  
 ★社会の課題に立ち向かう力を身に付けるためには、身近な社会に関心を持ち、課題を発見し、自ら身に付けた知識や技能を使いながら、よりよく解決していく経験を増やしていくことが必要となります。生活の多くを占める授業において、子どもが主体的でかつ仲間と関わり合い、よりよく解決していくことができるよう、授業改善を行い、学校教育目標の「やさしく・かしこく・たくましく」を具現できるよう努めて参ります。  
 ★学校での学びや生活を家庭においても反映していくことができるよう、家庭と連携を深めながら、お子様の成長につながるように工夫するとともに、さらに、学校が楽しいところになるよう努めて参ります。

<子ども評価>  
 ・生命の尊厳を理解し、人を思いやる生活をしようとする多くの子どもたちが努めていることや、自分なりの方法で学んだり、タブレット端末を活用して効果的に学んだりしていることが分かりました。読書も多くの子が親しんでいることが分かりました。新しい自分づくりに取り組む意欲も高まってきました。  
 ・学校が楽しみをもっと伸ばすために、英語学習をはじめ、主体的な学びや心の醸成を図り、楽しかったことを家族に話せる子どもを育てたいと考えました。